



2022年4月28日

各 位

上場会社名 株式会社 鳥取銀行  
代 表 者 取締役頭取 平井 耕司  
(コード番号 8383 東証スタンダード)  
問合せ先責任者 経営統括部長 鼻渡 信幸  
(TEL 0857-37-0260)

### 2022年3月期通期業績予想の修正及び2022年3月期第4四半期の有価証券評価損並びに退職給付信託の一部解約に伴う特別利益計上に関するお知らせ

当行では、2022年3月期第4四半期において、有価証券評価損並びに退職給付信託の一部解約に伴う特別利益を計上する見込みとなりましたので、2021年11月12日に公表いたしました2022年3月期通期(2021年4月1日～2022年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正について

##### (1) 連結業績予想の修正

2022年3月期通期(2021年4月1日～2022年3月31日)

	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,350	900	96.12
今回修正予想 (B)	460	890	95.06
増減額 (B-A)	△890	△10	
増減率 (%)	△65.9	△1.1	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	1,618	996	106.47

##### (2) 個別業績予想の修正

2022年3月期通期(2021年4月1日～2022年3月31日)

	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,350	900	96.12
今回修正予想 (B)	420	860	91.85
増減額 (B-A)	△930	△40	
増減率 (%)	△68.8	△4.4	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	1,571	969	103.53

### (3) 修正の理由

#### ①個別業績予想の修正

保有する有価証券(株式)の評価損拡大に伴い減損処理を実施するほか、退職給付信託の一部解約に伴い特別利益を計上いたします。この結果、経常利益及び当期純利益が前回公表時の予想を下回る見込みとなったことから、2022年3月期通期の業績予想を修正するものです。

#### ②連結業績予想の修正

個別業績予想の修正に伴うものです。

## 2. 有価証券評価損の計上について

「その他有価証券」に区分される有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、2022年3月期第4四半期において減損処理による有価証券評価損を計上する必要が生じましたのでお知らせいたします。

### 2022年3月期第4四半期における有価証券評価損

	単体	連結
2022年3月期第4四半期会計期間(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の有価証券評価損の総額 (=A-B)	1,255百万円	1,255百万円
(A)2022年3月期 (2021年4月1日から2022年3月31日まで)の 有価証券評価損の総額	1,255百万円	1,255百万円
(B)直前四半期(2022年3月期第3四半期)累計期間 (2021年4月1日から2021年12月31日まで)の 有価証券評価損の総額	一百万円	一百万円

※四半期における有価証券の評価方法は、第1四半期から第3四半期までは洗替え方式、第4四半期は切放し方式を採用しております。

※当行の決算期末は、3月31日です。

## 3. 退職給付信託の一部解約に伴う特別利益の計上について

当行では、将来の退職給付に備えることを目的として退職給付信託を設定しておりますが、退職給付信託を含む年金資産が退職給付債務に対して大幅な積立超過の状況であり、今後もその状態が継続することが見込まれることから、退職給付信託のうち60億円を解約いたしました。これにより、2022年3月期第4四半期において特別利益(退職給付信託返還益)として895百万円を計上する見込みです。

※本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上